

Ⅲ コミュニティ・スクールや 「地域協育ネット」等の取組事例 (7地域ごと)

- 各市町における「やまぐち型地域連携教育」推進構想
- 学校運営に係る取組
- 学校支援に係る取組
- 地域貢献に係る取組
- 学校(園)が連携した取組や地域ぐるみの取組

岩国地域

- ・ 岩国市
- ・ 和木町



やまぐち型地域連携教育の推進に関する岩国市の方向性

岩国市教育委員会

○ 岩国市における事業概要

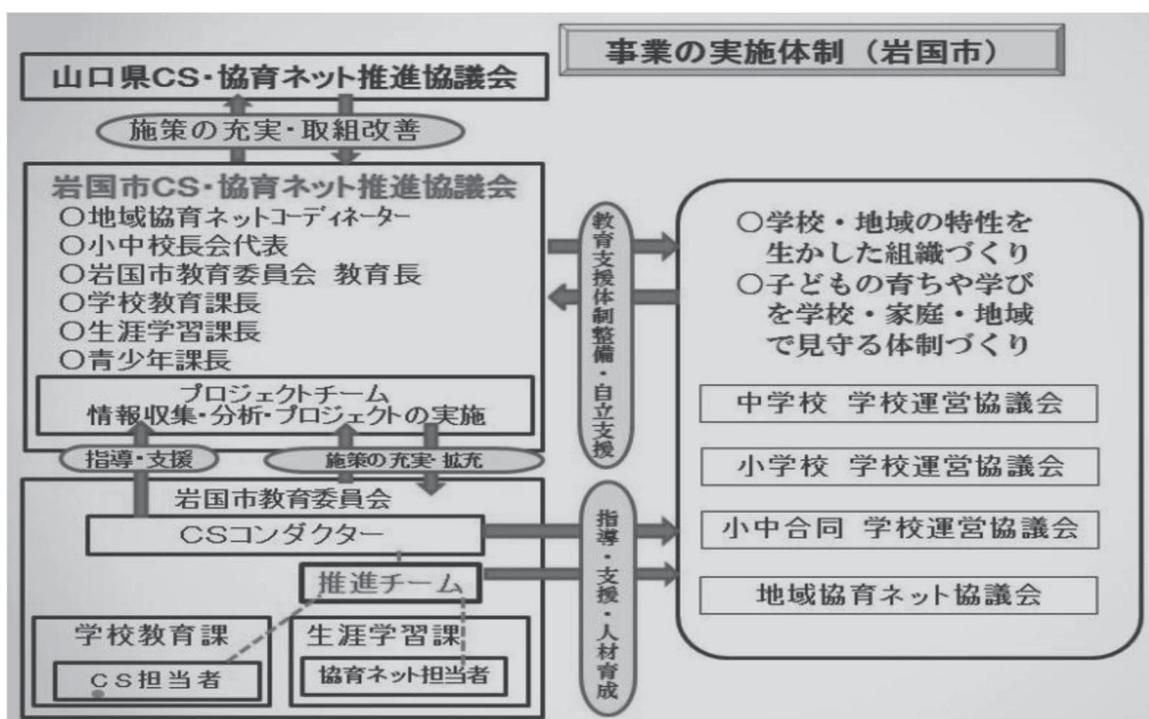
◆ 「岩国市CS・地域協育ネット推進協議会」の設置

- ・ 構成：地域協育ネット協議会コーディネーター（15名）、小中学校校長会長、教育長、学校教育課長、青少年課長、生涯学習課長、CSコンダクター
- ・ 全県の施策の共通認識、地域の課題把握・改善、コーディネーターの資質向上

◆ 「CSコンダクター」の設置

- ・ 岩国市CS・協育ネット推進協議会への指導・支援

○ 事業の実施体制



○ モデル中学校区の指定

平成28年度 岩国市モデル中学校区	
中学校	小学校
岩国中 H23	御庄小H26、藤河小H27、柱野小H26、岩国小H27
東中 H25	小瀬小H27、装港小H27、東小H27
岩国西中 H25	杭名小H27、河内小H27
美川中 H26	美川小H25
美和中 H19	美和東小H27、美和西小H27

平成29年度 岩国市モデル中学校区	
中学校	小学校
麻里布中 H25	麻里布小H26
平田中 H26	平田小H27
由宇中 H26	由宇小H27、由西小H27、神東小H27
玖珂中 H24	玖珂小H26
周東中 H22	そお小H26、高森小H23、川上小H26、米川小H26、修成小H26、周北小H27

○ 事業の実施状況

ア 岩国市CS・地域協育ネット推進協議会の開催（年3回）

イ やまぐち地域連携教育の集い（岩国地域）（兼第2回岩国市CS・地域協育ネット推進協議会）の開催

ウ 推進チームによる指導・支援

- ・各学校で開催される学校運営協議会や各地域で開催される地域協育ネット協議会にCSコンダクター、CS担当、地域協育ネット担当が参加し、直接指導・支援の実施（延べ44回）

エ 「岩国CSだより」の発行

- ・第1号～第37号を発行

- ・内容（コミュニティ・スクールと地域協育ネットについて、市内小中学校の好事例の紹介、CSコンダクターなどが参加した研修会の復伝、コミュニティ・スクールに関する意識調査結果の報告等）

オ 講義・講演会の実施

- ・岩国・和木社会教育主事研修会における「やまぐち型地域連携教育の取組」、岩国市立由宇中学校PTA総会での「コミュニティ・スクールと地域協育ネットの取組」などでの講演実施。灘地区三校合同研修会、岩国市立岩国西中学校での岩国西地域協育ネット協議会、岩国市立通津中学校における地域コミュニティ集会、岩国市青少年育成市民会議、岩国市立麻里布小学校の校内研修、岩国市小中学校教育研究会事務部会、岩国市教育センター岩国市夏季研修講座、岩国市立東小学校における学校運営協議会との合同校内研修会、岩国市灘地区民生児童委員研修会、和木町コミュニティ・スクール委員会、岩国市立美川小学校の校内研修など各種会議での指導・助言

カ 各種研修会等への参加

- ・地域とともにある学校づくり推進フォーラム in 由利本荘（7月29日（金）秋田県由利本荘市）
- ・やまぐち地域連携教育の集い（萩、山陽小野田、山口、防府）

キ 行政視察への対応

- ・大阪府吹田市議会、三重県伊賀市議会、神奈川県愛甲郡愛川町議会

○ これまでの取組による効果

（1）市内全体における効果

- ・各地域の特性を生かした「地域とともにある学校づくり」を推進する基盤の定着
- ・地域住民の学校運営に参画しようとする意識の高まり
- ・教職員の積極的な研修への参加と熟議によるコミュニティ・スクールに関する意識の高揚
- ・教職員と地域住民を含めた学校運営協議会委員会による熟議を通じて、学校課題とめざす子ども像の共有化
- ・コミュニティ・ルームの設置による来校者の増加
- ・運営協議会委員の授業や研究協議への参加による教員の指導力向上や授業改善

（2）モデル中学校区における効果

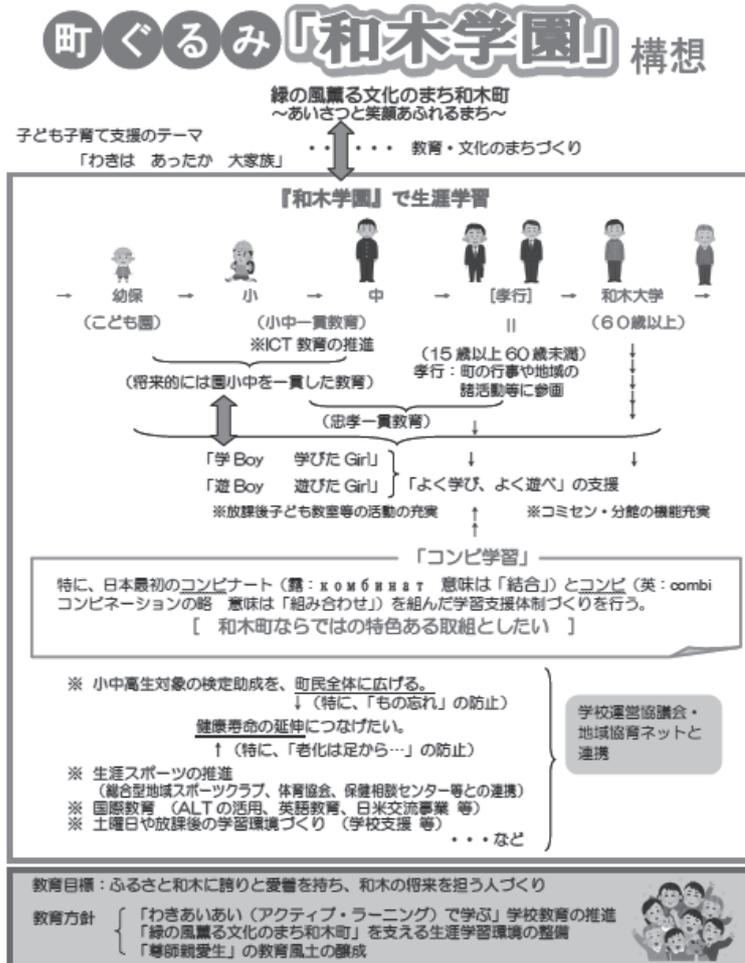
- ・自主性を確立した学校運営の実践の広がり
- ・地域住民・保護者を対象とした意識アンケート調査によるCSの認知度や地域・保護者のニーズの把握、地域と連携して取り組む活動の設定

町ぐるみ「和木学園」構想

① 基本方針

和木町には、中心部に幼保・小学校・中学校が各1校、及び総合コミュニティセンター、図書館、体育センター、文化会館、美術館など教育施設が集中しており、コンパクトな学校教育、生涯学習環境が形成されている。本町の子どもたちは、幼保・小学校・中学校と、同じ園・学校で過ごすことから、15年間を通して「単一の学園」と同様の一貫した教育が可能となっている。学校と地域が連携して地域とともにある学校づくりを行うため、幼・小・中を一貫した教育を進めるに「和木町コミュニティ・スクール委員会」を設置し、「学力向上」、「心の教育」、「体力向上」など地域の支援ボランティアなどの取組を進めている。

また、60歳以上では高齢者大学の「和木大学」が開校され、生涯学習の場として活用されているが、義務教育卒業後から壮年期の学習・活躍の場づくりや、町内コミュニティ、企業との連携による学習活動なども課題となっている。

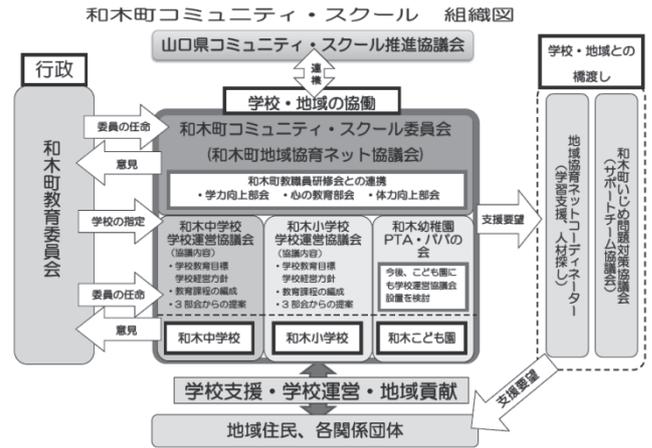


こうした学校教育や社会教育、社会活動をそれぞれが単独で実施するのではなく、町ぐるみ「和木学園」という大きな中で連携しながら進めることで、町民全てが、生涯いきいきと活動する場がある、町民総活躍のまちをつくることができる。

こうした中、和木町ではコミュニティ・スクール、地域協育ネットを立ち上げるとともに、町ぐるみ「和木学園」という形で、やまぐち型地域連携教育を進めることで地域全体で子どもへの教育を実践することができると同時に、町ぐるみの生涯学習へ繋がると考えている。

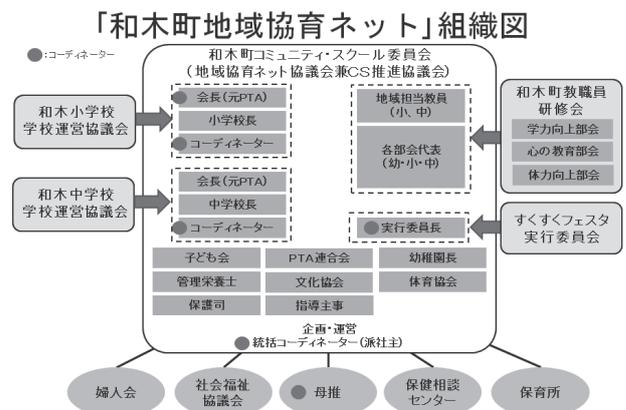
② 推進体制

- 平成 27 年度に推進母体として、地域協育ネット協議会とコミュニティ・スクール推進協議会を一体化
- 学校運営協議会会長や教職員、町内の各団体の代表が委員となる
- 和木町教職員研修会
幼小中一貫教育の推進
学力向上・心の教育・体力向上



委員構成

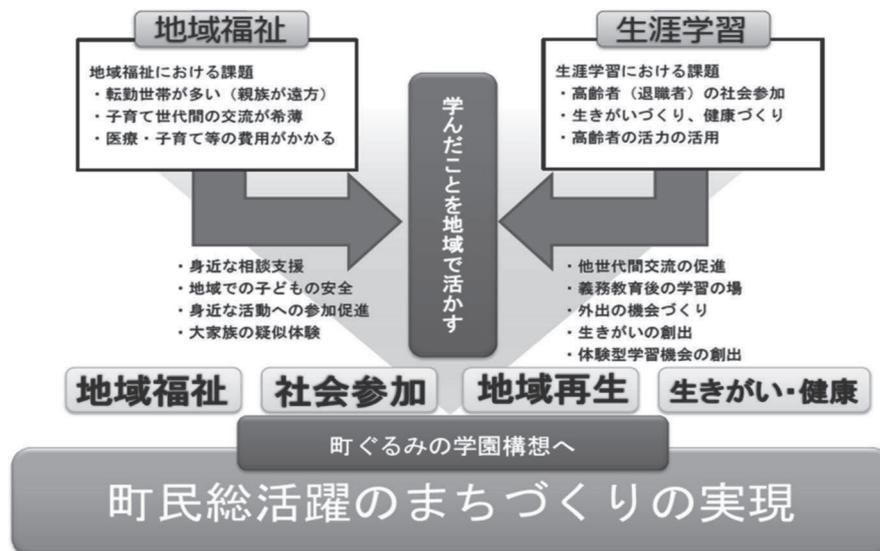
- ・小中学校の学校運営協議会の会長
- ・地域協育ネットのコーディネーター
- ・教職員
- ・すくすくフェスタ実行委員長(家庭教育)
- ・子ども会
- ・PTA連合会
- ・幼稚園長
- ・管理栄養士
- ・文化協会
- ・体育協会
- ・保護司
- ・指導主事



③ 和木町教育委員会の取組

生涯学習を町ぐるみで取り組むために、町ぐるみ「和木学園」実行委員会を立ち上げ、委員を中心に生涯学習推進の取組を考案している。町民からのニーズをアンケートによって集計し、それを基に生涯学習に繋がる講座を立ち上げている。

学校教育、社会教育、社会活動をそれぞれが単独で実施するのではなく、「和木学園」という大きなくりの中で連携しながら進めることで、町民全てが、生涯いきいきと活動する場がある、町民総活躍のまちをめざしている。



学校運営に係る取組

岩国市立小瀬小学校



「小瀬地域について考えよう」をテーマに熟議を行い、「三世代で楽しめる行事を行う」「空き地の利用を考える」等の地域の活性化につながる意見が多数出された。

岩国市立麻里布小学校



学校の取組や課題を説明した後、心と体の教育、学力向上、キャリア教育の3部会に分かれて課題解明に向けた熟議を行った。

岩国市立装港小学校



学校運営協議会委員を招いてユニット型研修を実施した。教職員だけでは気付かないような貴重な意見をいただくことができた。

岩国市立愛宕小学校



教職員・保護者役員・学校運営協議会委員で「愛宕小の現状と今後の方策」をテーマに熟議を行い、知・徳・体の部会ごとに2学期以降の取組を協議・発表した。

岩国市立玖珂中央小学校



ユニット型研修を実施し、地域の方を交えて、授業について協議会を行った。

岩国市立錦清流小学校



保護者や地域の方が気ままに集まり、ときには教職員と語り合う部屋「すくろーむ」を開設した。

岩国市立本郷小学校



学校運営協議会の意見により、創立150年記念の取組を学習発表会形式で行い、地域の方と共に祝った。

岩国市立川下中学校



開かれた学校づくりをめざし、生徒と地域の方との交流の場となるようにコミュニティルームを開設した。文化祭では、地域の方の絵画や書、手工芸品など約100点の作品を展示した。

岩国市立灘中学校



学校運営協議会委員が参加したユニット型研修で、授業参観後に小グループで研究協議を実施した。

学校支援に係る取組

岩国市立杭名小学校



全校児童と地域の方で校庭の茶摘みを行い、煎った葉のもみ方を教えていただいたり、昔はそれぞれの家庭でお茶の木を育てていたという話を聞いたりした。後日お茶会を開き、茶話会も行った。

岩国市立河内小学校



地域のボランティアによる「お話会」を実施した。週1～2回の朝の読み聞かせにも来ていただいている。

岩国市立柱野小学校



地域学習の一環として、地域の方、保護者、児童が一緒になって「錦帯橋の模型づくり」を行った。学校運営協議会と公民館とが連携して運営した。

岩国市立川下小学校



6年生の総合的な学習の時間に岩国藩鉄砲隊の方をお招きし、体験学習を行った。児童は説明を受けながら、火縄銃を持たせてもらったり、具足を着用させてもらったりした。

岩国市立中洋小学校



4年生が、地域の方から城下町・岩国の代表的な郷土料理である岩国寿司の作り方やその歴史について教えていただいた。

岩国市立由宇小学校



図書ボランティアの方に昼休み等、本の貸し出し補助と、学期ごとの読み聞かせを行っていただいている。

岩国市立玖珂小学校



家庭科の授業で、年間10回以上、更生保護女性会のみなさんにミシンの使い方や手縫いの基本を丁寧に教えていただいている。

岩国市立川上小学校



毎年、地域の方を講師に招き、藁すきからしめ飾り作りまでを教わっている。6年生の中には自分でしめ飾りを作れるようになった児童もいる。

岩国市立米川小学校



学校ボランティアが定期的で開催する読み語りの会で、「琵琶の生演奏による弾き語り」が行われた。今年の題目は「雪女」で、全校児童が聴き入った。

学校支援に係る取組

岩国市立宇佐川小学校



夏に向けて、児童・保護者・地域の方が一緒に花壇を整備し、苗を植えた。宇佐川小学校区みんなの花壇として花いっぱいをめざして活動している。

岩国市立美川小学校



夏休み環境作業後に、感謝の気持ちを込めてふれあい昼食会を開催した。竹の準備は老人クラブ、そうめんは食生活改善推進員と保護者が協力して調理し、そうめん流しを行った。

岩国市立美和東小学校



3年生の社会科「農業の仕事」で、美和町の特産である岸根ぐりの歴史や栽培の工夫・苦労などを生産者に直接聞き、地域の特産物についての知識を深めた。

和木町立和木小学校



地域の方を講師に招いて、4年生全員で小瀬川河口の生物調査を行い、環境を守ることの大切さを学んだ。

岩国市立岩国中学校



中学校を会場として実施した公民館共催クラブ事業に生徒が参加し、九つの講座に分かれて、地域の方と一緒に体験活動を行った。

岩国市立麻里布中学校



学校運営協議会委員や高校生・大学生を講師に招いて、2学期中旬から受験時期までの毎週土曜日の午前中に3年生を対象とした「チャレンジ学習会」を実施し、成果を上げている。

岩国市立東中学校



地域の方から『俳句』のおもしろさや作り方など、日頃学ぶことのできない様々なことを学んだ。

岩国市立美川中学校



美川小・中学校合同秋季大運動会に地域の方を招待し、地域の運動会を兼ねて開催した。児童生徒は地域の方と積極的にふれあい、自分達が地域に支えられていることを実感することができた。

岩国市立美和中学校



卒業証書になる手すき和紙を作製した。地域の方に教えていただきながら1・2年生が原料のミツマタの植樹、刈取り、皮剥ぎ等の作業、3年生が紙すきを行った。

地域貢献に係る取組

岩国市立御庄小学校



地域の敬老会に全校児童が参加し、日頃の学習の成果を披露し大変好評だった。

岩国市立岩国小学校



岩国市の民俗芸能である「小糠踊（こぬかおどり）」を毎月第4土曜日に本校の講堂で練習し、錦帯橋祭等で披露している。

岩国市立東小学校



6年生が土曜夜市に参加し、多くのお客さんに立ち寄ってもらうための方法を工夫したり、実際に店番を体験したりしながら、地域のために自分ができることを考え、実践した。

岩国市立由西小学校



地域の伝統芸能である笠塚神楽を継承している。6月の「ホテルの夕べ」では、それを地域の方に披露し、共に楽しいひとときを過ごした。

岩国市立神東小学校



神代浜の清掃活動を定期的に行っている。漁業協同組合関係者や地域の方の参加もあり、地域に根ざした活動となっている。

岩国市立高森小学校



周東町中央地区文化祭の催しの部で、高森小学校遊撃軍太鼓が勇ましい太鼓演奏を発表し、祭りを盛り上げた。

岩国市立周北小学校



周北小学校区の川越・三瀬川・檜余地の3会場を回って敬老会に参加し、合唱や作文を発表した。

岩国市立美和西小学校



本校職員を講師に、「布わらじ」作りを行った。教職員、保護者、地域住民等、約20名が和やかに取り組んだ。

岩国市立通津中学校



地域の拠点である公民館と連携を図り、公民館等で催される小学生向けの体験講座や地域行事などに中学生ボランティアとして参加している。今年も公民館祭りに31名の生徒が参加した。

地域貢献に係る取組

岩国市立平田中学校



地域の伝統芸能「平田囃田」を保存会の方と継承し、地域活性化の一助としている。

岩国市立岩国西中学校



生徒が利用しているJR錦川清流線南河内駅周辺の清掃作業を地域の方と一緒にやっている。

岩国市立由宇中学校



由宇駅で、地域の方とともに花の植え替え作業を行った。由宇総合支所においても、春と秋には定期的にボランティア活動をしている。

岩国市立玖珂中学校



地域の行事（くらかけ城まつり）に生徒がボランティアとして参加した。

岩国市立錦中学校



有志13名により特別養護老人ホーム錦苑の盆踊り大会の飾りつけボランティアを行った。活動を通して、錦苑の入所者や職員とふれあうことができた。

和木町立和木中学校



和木幼稚園PTA主催行事の「わくわくフェスタ」において、毎年中学生のボランティアが活躍している。

大人を信頼する子どもへの変容に期待

岩国市教育委員会 山口CSコンダクター 藤井 明男



山口CSコンダクターとして、今年度から和木町の小・中学校も訪問させていただいています。各地域や学校の特色を生かしたCS・地域協育ネットの取組が進んでおり、今年度は特に、コミュニティ・ルームの設置、地域住民の学校への来校者数の増加、郷土愛につながる取組等が一層進んできていると思っています。先日、ある学校運営協議会の委員さんが会議の中で、「子どもたちが大人を信頼してきているね。」という発言がありました。子どもたちが地域の行事やボランティア活動等に積極的に参加することが多くなったり、お互いに気持ちのよい挨拶を交わし合ったりする中で培われているものであり、この信頼感が子どもたちの前向きな考え・行動につながっているのではないかと私は捉えています。さらに、夢や希望をもち続ける大人への成長を期待しているところです。

学校(園)が連携した取組や地域ぐるみの取組

岩国市立藤河小学校、岩国中学校



夏休みの奉仕作業に藤河小卒業の中学生が参加して、小学生と一緒に作業を行った。また、中学校の保護者も参加し、小学校の保護者とともに作業を行った。

岩国市立通津小学校



児童・保護者・地域住民・交通安全関係者・岩国警察署員・アメリカ軍岩国基地関係者等で、日米友好の人文字を作り、山口県警のヘリコプターによる写真撮影を行った。

岩国市立岩国小学校、岩国中学校



地域一斉清掃として、岩国中の1年生と吉香公園周辺や紅葉谷公園等の清掃活動を実施した。

岩国市立灘小学校



5年生が「地域のみなさんといっしょに災害と避難所について学ぼう」をテーマに、地域の方と危機管理専門員の講話を聞いたり、給水体験や非常食体験を行ったりした。

岩国市立平田小学校、平田中学校



小中連携事業の一環で、小学校へは中学生が、中学校へは小学校の教員が、夏休みの補習学習に参加し、交流している。

岩国市立東小学校



放課後子供教室が主催した、冬の学習会に、3日間でのべ300人の児童が参加した。中学生や地域の方、教職員等が連携して、児童の自学をサポートすることができた。

岩国市立玖珂中央小学校



地域にある事業所に依頼し、キャリア教育の一環として、6年生の職場体験学習を行った。

岩国市立そお小学校



地域の方からいただいた芝桜の苗を1・2年生が、保護者や地域の方と一緒にグラウンドに面した斜面に植えた。半年が経ち、色とりどりの花を咲かせ始めている。

岩国市立修成小学校



地域の方からいただいた菜の花の苗を休耕田に植え、人々の目を楽しませた。また、菜種を収穫して全校児童と地域の方で種をまき、地域にも配布した。

学校(園)が連携した取組や地域ぐるみの取組

【あったかネット】

岩国市立川下中学校、愛宕小学校



防災訓練の一環として、地域の方の協力を得て、「災害時引き渡し訓練」を行った。小学校に弟・妹がいる中学生は小学校へ移動して保護者への引き渡しを行った。

【IWANISHI ネット】

岩国市立岩国西中学校
杭名小学校、河内小学校



自治会主催の「地域防災訓練」に幼児、小・中学生が参加した。炊き出し訓練、救助体験、安全講話、はしご車乗車体験など地域、専門家の力を借り、充実した活動となった。

岩国市立玖珂中学校、
玖珂小学校、玖珂中央小学校



各地域の方とともに小・中学生・保護者が一緒になって、通学路などの地域清掃を行った。

岩国市立周東中学校



学校運営協議会の熟議資料を参考に「周東地域の大人も子どもも共に喜びを分かち合える未来予想図を描いてみよう!」というテーマで、生徒が自分でできることを考え発表した。

【錦地域協育ネット】

岩国市立錦中学校、
錦清流小学校、宇佐川小学校



学習習慣の定着や学習の仕方を身に付けることを目標に、錦地域協育ネットによる「にしき土曜塾」を毎月第3土曜日の午前中に実施している。

岩国市立本郷中学校



本郷地区の保育園・小・中学校とそれぞれの保護者・地域の方とで、洪水・土砂災害を想定した合同避難訓練を実施した。

みんなでつながりの輪(和)を広げ、たくましい山口っ子をたくさん育みましょう!

岩国市立川下中学校区「あったかネット」統括コーディネーター 渡邊 博明

社会総がかりによる「地域教育力日本一」の取組の推進に向けて、私は川下中学校区地域協育ネット「あったかネット」の統括コーディネーターの役を引受け、4年目となります。

私はPTA役員経験から、最近子どもたちを取り巻く環境が複雑化・多様化しており、子どもたちの心身の発達も早期化してきていることも考慮すると、学校が抱える課題は、学校だけの対応では難しくなっていると感じています。

ゆえに「やまぐち型地域連携教育」で掲げている、知・徳・体・地元愛をもった子どもたちの育成には、学校・保護者・地域住民が一体となる、「地域協育ネット」のしくみが三者と子どもたちの成長にとって、とても有効かつ重要なものであると思っています。

学校単位では「おやじの会」等、学校支援団体がありますが、中学校区でのくくりで輪を大きくし、幼少期から長期的に見守り応援をする事で、子どもたちと大人、双方の信頼関係も更に深くなると思われまます。

私達、大人がたく・強く・固く・熱く・長い絆を持ち、この絆を子どもたちと一緒につなぎ合い、これからも「たくましい山口っ子」を一人でも多く育てていきたいと思います!

